

6. いろいろなドングリ

○ねらい：普段、なにげなく見ているドングリ。でもドングリという名前の木はありません。そのドングリはどんな木の実なのか、その種類を調べてみましょう。

●対象地：柏木公園・弥富公園南側樹林地・社寺境内林・公園など

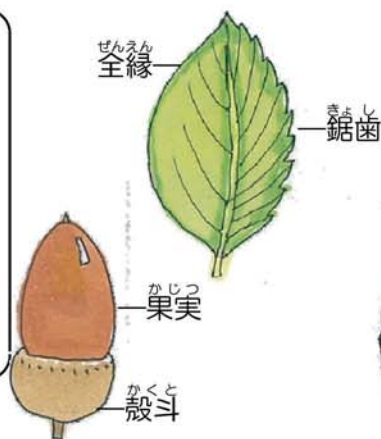
ドングリとは

みなさんがよく知っている「ドングリ」とは、カシ・ナラ・カシワ・シイなどの仲間（なかも）の木、つまりブナ科（そうしやう）の木になる実の総称（そうしやう）なのです。
瑞穂区（みずほく）内でも、昔からの林（もり）や神社（しんじや）やお寺（おてら）の境内林（けいだいりん）で、また公園（こうえん）や街路樹（がいろじゆ）の中にもドングリの実（み）をつける木（き）があります。ドングリ（かぐと）の形（かたち）は丸（まる）いもの（もの）や細長（ほそなが）いもの（もの）があり、また殻斗（かぐと）の形（かたち）もいろいろあります。これらの特徴（とくちゆう）から木（き）の種類（しゆるい）が分（わ）かります。

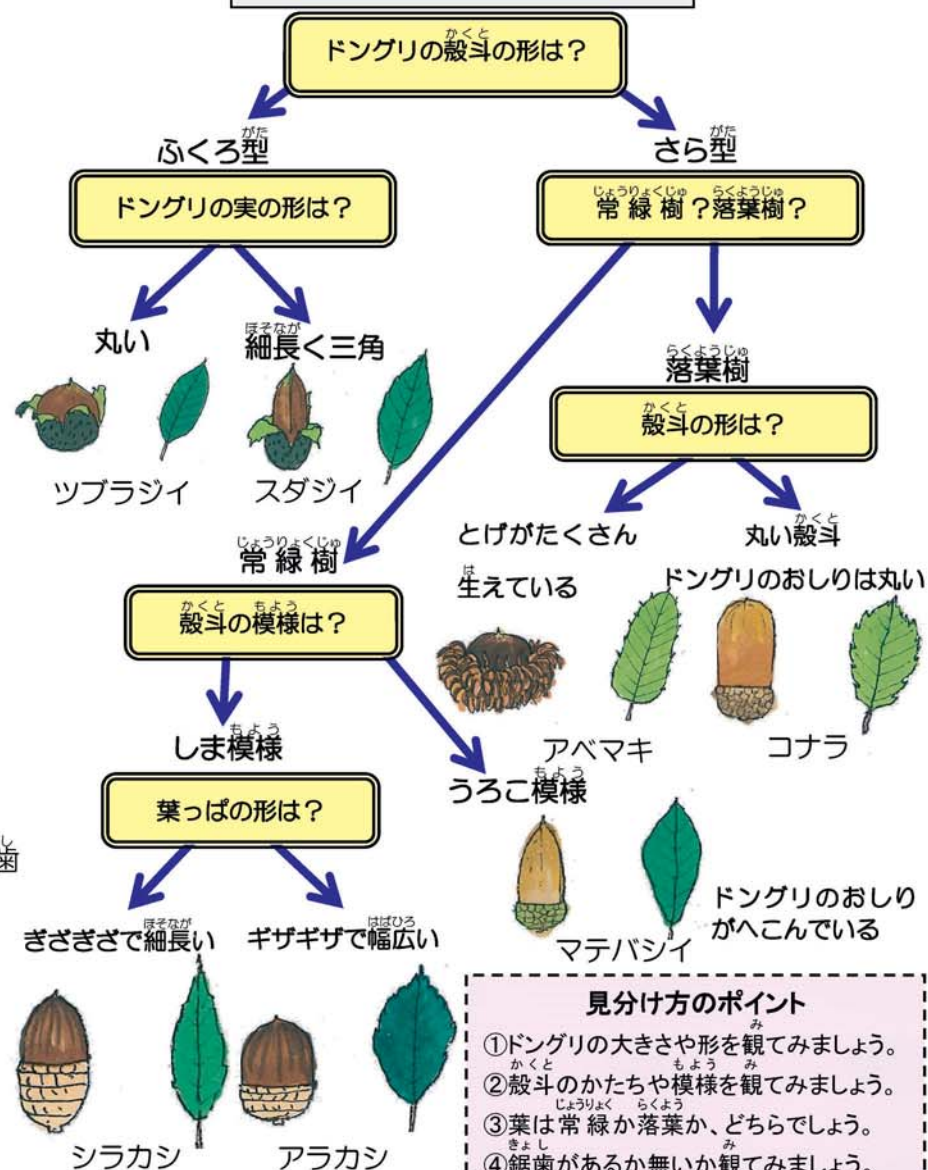
ドングリと葉（みしやう）の名称

ドングリ（かぐと）の見分け方（みわけかた）と用語（かいせつ）解説（かいせつ）

果（か）実（じつ）：ドングリ
殻（か）斗（と）：木（き）とドングリ（かぐと）の間に（ま）についている
お皿（おひら）のような形（かたち）のもの
常（じよう）緑（りよく）樹（じゆ）：一（いち）年（ねん）中（ちゆう）緑（りよく）の葉（は）をつけて（つ）いる樹（じゆ）木（もく）
落（らく）葉（よう）樹（じゆ）：冬（ふゆ）には葉（は）を落（お）とす樹（じゆ）木（もく）
鋸（きょ）歯（し）：葉（は）の縁（えり）に（あ）るぎざぎざの切（き）れ込（こ）み



ドングリ（かぐと）の種類（しゆるい）の見分け方（みわけかた）



みずほく
瑞穂区のドングリ発見！

けいだいりん じゅもく さが
林や境内林、また、まちの中の樹木や庭の木でドングリを探してみましょう。そして見つけたドングリについて、①どこにあったか、
とくちょう かじつ かくと とくちょう かんさつ
②葉の特徴、③果実や殻斗の特徴を観察しながら、④スケッチをして、名前を調べてみましょう。

見つけ
た場所

葉の特徴・スケッチ

殻斗の形

ドングリのスケッチ

●常緑樹 ●全縁	●常緑樹 ●全縁	●常緑樹 ●鋸歯あり	●常緑樹 ●鋸歯あり	●常緑樹 ●全縁	●落葉樹 ●鋸歯あり	●落葉樹 ●鋸歯あり
●細長く三角の実 ●ふくろ型の殻斗	●丸い実 ●ふくろ型の殻斗	●丸い実 ●しま模様の殻斗	●丸い実 ●しま模様の殻斗	●長く大きな実 ●うろこ状の殻斗	●長く大きな実 ●うろこ状の殻斗	●丸く大きな実 ●とげ状の殻斗
●スダジイ	●ツブラジイ	●アラカシ	●シラカシ	●マテバシイ	●コナラ	●アベマキ